



**CRIE**  
クリエアナフキ

# 第29期 年次報告書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

**CRIE**  
クリエアナフキ

## Our Mission

人間の可能性を最大限に開発し、働く人と企業との間に立って、雇用機会の拡大をめざす。クリエは発足以来、これを最大の使命と考えてきました。今後は、ヒューマンリソースに関するコンサルティングサービスを核とした、よりハイレベルなビジネスを次々に展開していきたいと考えております。

### Mission

**CRIEは人が「活かされ」「生きる」をコーディネートします**

私たちがいつも考えていることは、「事業を通じて関わっていくすべての人やお客様が、よりよく生きるために何ができるのだろうか」ということです。私たちは、このテーマに基づいて、機会を創り出すことと、価値を生み出すことに意味をおいています。

人が「活かされ」「生きる」を考え続け、一歩ずつ近づいていきたい、それが私たちにできる貢献ではないかと考えます。

### Vision

**CRIEは提供するサービスにおいて国内最高のクオリティをめざします**

私たちがめざしているところ、それは「提供するサービスクオリティの高さで評価をいただく」ことです。

そのためには、私たち自身のヒューマンクオリティを最大化し、そこから生まれるサービスで、お客様から常に支持される、そんな存在になってはじめて可能になると考えています。

### Value

**私たちには大切にしているものがあります**

#### クオリティとスピード

われわれが提供するサービスの本質は、クオリティとスピードである。クオリティは安心をもたらす、スピードは価値を生み出す。

#### Think Win-Win

永続的な信頼関係を作り上げる唯一の方法は、Win-Winを考えることである。われわれは常に正直かつ誠実に向き合う。

#### 三つの勇気

革新し続けるためには、「自己を否定する、リスクに挑戦する、責任を取る」この三つの勇気が必要である。その決意があってはじめて革新への前進が始まる。

#### 楽しさと感動

本物の楽しさや感動は、プロフェッショナルな仕事の中から生まれる。われわれはそれを共有する文化を大切にする。

#### 目的共有体

仕事は、主体的な参加である。われわれは自らの意思により目的を共有する存在である。

## 株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜りありがたく厚くお礼申し上げます。

さて、第29期（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）の報告書をお届けいたしますので、よろしくご高覧ください。

当社グループは、2期ぶりに全ての利益項目で黒字を確保することができました。上場来初めて営業損失を計上した前期の苦い経験の反省の上に立って、四国重視の営業戦略を打ち出した効果の表れだと考えております。

しかしながら、売上面では、半ば意図的な大都市圏での落ち込みを中四国の伸長でカバーできず、当期も減収に終わりました。売上の増加を伴った本格的な業績回復に向けて、強みを有する中四国での営業活動を更に強化していく所存です。

急速な少子高齢化の進展により、既にわが国は本格的な人口減少社会に入ったといわれます。そのような状況の中、中四国などの地方圏について、雇用を求める若年層の東京圏への流出により、出生数と労働力の減少が加速する結果、近い将来に、多くの自治体が消滅する可能性があるという暗い予測が公表されたのは、記憶に新しいところです。

政府がいま最重要課題として掲げる地方創生は、人口減少社会を迎えたわが国の成長持続に不可欠な喫緊の課題であり、「雇用創出」の実現こそが、その成否を握る鍵だと認識しております。

当社グループは、主力の人材派遣のほか、都市から地方への人の流れを創るU・Iターン転職支援など、多種多様な人材サービスを中四国と東名阪3大都市圏で展開しております。更に、親会社である穴吹興産を中核とする「あなぶきグループ」各社と協働すれば、雇用の橋渡しだけでなく、不足する労働力を補充したり、全国津々浦々に雇用の場を創造したりすることも十分に可能です。

当社が四国の地で産声を上げてから、来年4月でちょうど30年になります。地方創生の機運は、当社グループにとって、新規蒔き直しの大きなチャンスとなるはずですが、10年後、20年後、その先の未来においても、それぞれの地域社会の中であって活かされ生きる存在でありたいと願っております。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成27年6月



代表取締役社長 藏田 徹

## 事業の状況

当期のわが国経済は、消費税増税や夏場の天候不順の影響から消費者マインドが低下し、個人消費に弱さが見られたものの、生産や輸出が持ち直しに向かうなど、景気は緩やかな回復基調を続けました。

人材サービス業界においては、有効求人倍率の上昇に一服感が見られたものの、雇用情勢は総じて改善傾向で推移しました。また、派遣労働者の受入れ期間の上限を撤廃する法改正が見込まれるなど、雇用分野の規制改革が進もうとしております。

このような経営環境の中にあって、当社グループは、派遣市場の活性化に資する制度変更を前に、これを追い風として再成長を遂げるべく、強みを有する四国に経営資源を集中し、同地域での売上高・市場シェアの拡大をめざしております。

以上の結果、当期における当社グループの業績は、アウトソーシング事業などの減収により、売上高は6,147,476千円（前期比96.9%）にとどまりました。しかし、利益面では、収益性の高い人材紹介事業が好調であったこと、売上原価の低減に努めたことなどから、営業利益77,407千円(前期は2,692千円の営業損失)、経常利益83,844千円(前期比3,399.1%)、当期純利益40,379千円(前期は8,242千円の当期純損失)となりました。

各事業部門の業績は、次のとおりであります。

### 人材派遣

当事業の売上高は3,698,004千円（前期比99.5%）となりました。

当社グループの主力である当事業については、平成26年4月に香川県丸亀市に支店を設置するなど、優位性を有する四国において可及的速やかに圧倒的な地位を確立すべく、同地域での営業体制の強化を進めております。3大都市圏での落ち込みを中四国の売上でカバーできず、減収にはなったものの、中四国において、新規契約数が堅調に推移するなど、持ち直しの動きが鮮明になってきました。

なお、当社は、派遣労働者の安定就労やキャリア形成に積極的に取り組んでいるとして、平成27年3月に

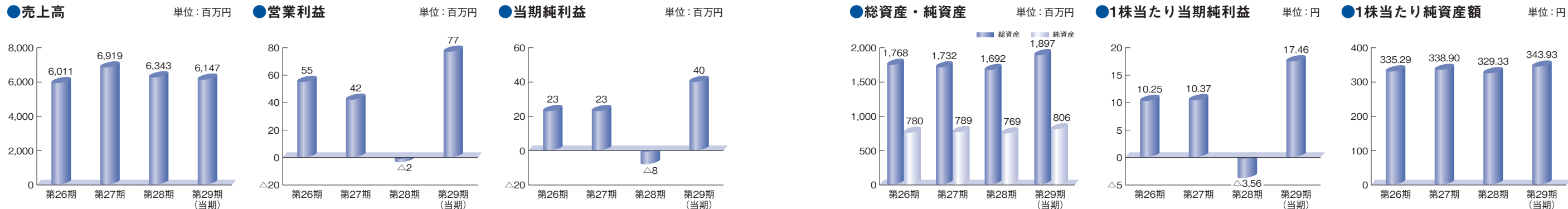
厚生労働省から「優良派遣事業者」の認定を受けております。

### アウトソーシング

当事業の売上高は2,083,331千円（前期比92.6%）となりました。

物流関連アウトソーシング事業を営む株式会社クリエ・ロジプラスにおいて、カタログ通販市場の低迷を背景に主たる取引先からの受注が減少したことから、前期実績を下回りました。なお、利益面に関しては、売上原価の低減（人員配置の効率化など）に努めたことにより、前期比で増益となっております。

## 経営指標の推移（連結）



## 人材紹介

当事業の売上高は171,516千円（前期比114.2%）となりました。

収益性の高い当事業については、中四国を中心に、幅広い層を対象とした求人の開拓、求職者の確保に努めた結果、前期実績を上回りました。なお、東名阪の3支店においては、Uターン転職支援に力点を置くなど、これまで以上に四国を意識した戦略を展開しております。

## 再就職支援

当事業の売上高は33,750千円（前期比154.3%）となりました。

景気悪化局面で需要が急増する特性を持つ当事業については、四国を中心に地道な営業活動を展開した結果、大型案件の受注があり、前期実績を大きく上回りました。

## IT関連

当事業の売上高は118,581千円（前期比77.6%）となりました。

株式会社クリエ・イルミネートが首都圏を中心に提供する研修や教材作成のサービスについては、前期に引き続き、マイクロソフト社SharePointに関する技術者向けトレーニングが人気を集めました。しかし、動画を用いた新商品「バーチャルクラス」の開発・製作等のために、時間的な制約から受託件数を抑制した結果、前期実績を下回りました。

## その他

研修・測定サービスなど、上記の各事業部門に含まれない事業の売上高は、合計で42,291千円となりました。

## 経理の状況

### ●連結貸借対照表

単位：千円

科目	前期 (平成26年3月31日現在)	当期 (平成27年3月31日現在)
<b>【資産の部】</b>		
<b>流動資産</b>	<b>1,449,322</b>	<b>1,661,291</b>
現金及び預金	694,121	939,185
売掛金	684,706	663,274
仕掛品	279	—
原材料及び貯蔵品	1,181	810
前払費用	26,003	18,619
未取還付法人税等	—	3,213
繰延税金資産	41,369	34,718
その他	3,095	2,447
貸倒引当金	△ 1,435	△ 977
<b>固定資産</b>	<b>243,348</b>	<b>236,407</b>
<b>(有形固定資産)</b>	<b>(19,214)</b>	<b>(17,351)</b>
建物	10,838	8,960
工具、器具及び備品	8,212	8,390
その他	163	—
<b>(無形固定資産)</b>	<b>(95,783)</b>	<b>(73,825)</b>
のれん	68,716	45,156
ソフトウェア	22,835	24,475
電話加入権	4,188	4,188
その他	42	5
<b>(投資その他の資産)</b>	<b>(128,350)</b>	<b>(145,230)</b>
投資有価証券	9,357	29,740
繰延税金資産	22,480	22,879
差入保証金	95,083	92,060
その他	1,428	550
<b>資産合計</b>	<b>1,692,670</b>	<b>1,897,698</b>

科目	前期 (平成26年3月31日現在)	当期 (平成27年3月31日現在)
<b>【負債の部】</b>		
<b>流動負債</b>	<b>693,867</b>	<b>894,859</b>
短期借入金	26,000	26,000
1年内返済予定の長期借入金	39,464	39,464
未払金	71,933	74,849
未払費用	428,687	430,712
未払消費税等	48,606	214,056
未払法人税等	9,159	26,780
預り金	10,598	9,434
賞与引当金	54,292	67,636
その他	5,124	5,926
<b>固定負債</b>	<b>229,548</b>	<b>196,539</b>
長期借入金	167,704	128,240
退職給付に係る負債	61,844	68,299
<b>負債合計</b>	<b>923,415</b>	<b>1,091,399</b>
<b>【純資産の部】</b>		
<b>株主資本</b>	<b>761,469</b>	<b>794,892</b>
資本金	243,400	243,400
資本剰余金	112,320	112,320
利益剰余金	412,396	445,837
自己株式	△ 6,646	△ 6,664
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>131</b>	<b>476</b>
その他有価証券評価差額金	131	476
<b>少数株主持分</b>	<b>7,654</b>	<b>10,930</b>
<b>純資産合計</b>	<b>769,254</b>	<b>806,298</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>1,692,670</b>	<b>1,897,698</b>

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## ●連結損益計算書（要旨）

単位：千円

科目	前期 (平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで)	当期 (平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで)
売上高	6,343,636	6,147,476
売上原価	5,168,887	4,899,781
売上総利益	1,174,748	1,247,694
販売費及び一般管理費	1,177,441	1,170,286
営業利益又は営業損失(△)	△ 2,692	77,407
営業外収益	8,563	10,436
営業外費用	3,404	4,000
経常利益	2,466	83,844
特別利益	—	1,398
特別損失	3,969	2,762
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	△ 1,503	82,480
法人税、住民税及び事業税	22,736	32,725
法人税等調整額	△ 17,434	6,099
少数株主損益調整前当期純利益又は 少数株主損益調整前当期純損失(△)	△ 6,805	43,654
少数株主利益	1,437	3,275
当期純利益又は当期純損失(△)	△ 8,242	40,379

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## ●連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

単位：千円

科目	前期 (平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで)	当期 (平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	△ 106,695	322,716
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 14,919	△ 31,150
財務活動による キャッシュ・フロー	112,975	△ 46,501
現金及び現金同等物 の増減額(△は減少)	△ 8,638	245,064
現金及び現金同等物 の期首残高	703,760	695,121
現金及び現金同等物 の期末残高	695,121	940,185

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

### ●ホームページのご案内●

当社ホームページには、事業内容のほか、株主・投資家の皆様向けの最新IR情報を掲載しております。どうぞご利用ください。



<http://www.crie.co.jp/>

## 会社の状況

### ●会社概要（平成27年3月31日現在）

商号 株式会社クリエアナブキ

本店 香川県高松市磨屋町2番地8

設立年月日 昭和61年（1986年）4月11日

資本金 2億4,340万円

従業員数 95名  
(男性43名、女性52名)

主要な事業内容 人材派遣  
アウトソーシング  
人材紹介  
再就職支援  
組織人事コンサルティング  
研修・測定サービス

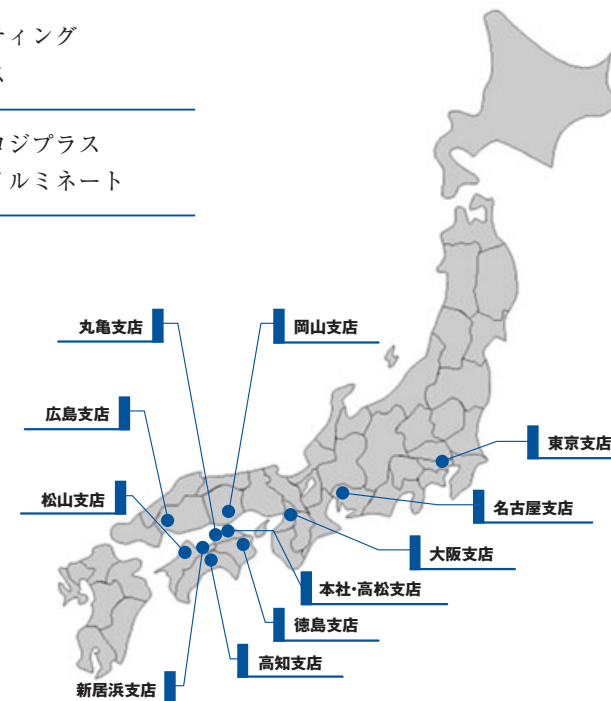
連結子会社 株式会社クリエ・ロジプラス  
株式会社クリエ・イルミネート

### ●役員（平成27年6月24日現在）

取締役会長 穴吹忠嗣  
代表取締役社長 藏田徹  
取締役 上口裕司  
取締役 北村ひとみ  
取締役 大谷佳久  
常勤監査役 福田清之  
監査役 柳瀬治夫  
監査役 桑島美恵子

(注) 監査役柳瀬治夫及び桑島美恵子は社外監査役であります。

### ●主要な事業所（平成27年6月24日現在）



## 株式の状況

### ●株式の状況（平成27年3月31日現在）

発行可能株式総数 9,000,000株

発行済株式の総数 2,340,000株  
（自己株式27,440株を含む。）

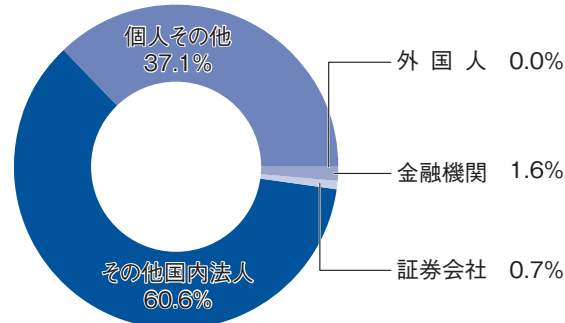
株主数 615名

#### 大株主（上位10名）

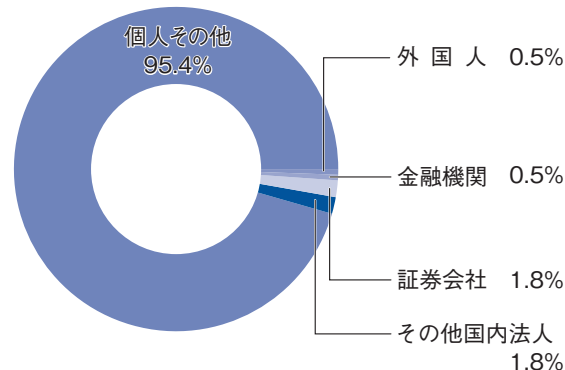
株主名	持株数	持株比率
穴吹興産(株)	1,323,500株	57.2%
藏田徹	228,700株	9.9%
クリエアナブキ従業員持株会	84,200株	3.6%
(株)穴吹ハウジングサービス	65,500株	2.8%
島津実義	61,400株	2.7%
穴吹忠嗣	48,000株	2.1%
深谷泰平	31,000株	1.3%
上口裕司	29,000株	1.3%
日本証券金融(株)	25,000株	1.1%
山下博	21,000株	0.9%

（注）持株比率は、自己株式（27,440株）を控除して計算しております。

### ●株式数比率（平成27年3月31日現在）



### ●株主数比率（平成27年3月31日現在）



## 株主メモ

●事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
●定時株主総会	毎年6月
●基準日	定時株主総会・期末配当：毎年3月31日 中間配当：毎年9月30日（但し、中間配当を行う場合）
●株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
●郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031（フリーダイヤル） 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び 全国各支店で行っております。

## 株式に関するお手続きについて

お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> <li>●单元未満株式の買取請求</li> <li>●届出住所・氏名などのご変更</li> <li>●配当金の受取方法のご指定</li> </ul>	口座を開設されている証券会社
<ul style="list-style-type: none"> <li>●郵便物の発送と返戻に関するご照会</li> <li>●支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>●株式事務に関する一般的なお問い合わせ</li> </ul>	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

※ 配当金計算書について  
配当金のお支払いの際に送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用になれます。  
但し、株式数比例配分方式をご選択の株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いいたします。  
なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封いたしております。確定申告をなさる株主様は大切に保管してください。